

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22111	消防局管理事務	消防局	総務課	シートA	2
22111	職員採用事務	消防局	総務課	シートA	3
22111	職員資格取得事務	消防局	総務課	シートA	4
22111	職員教養研修事務	消防局	総務課	シートA	5
22111	職員被服貸与事務	消防局	総務課	シートA	6
22111	消防長会事務	消防局	総務課	シートA	7
22111	消防署所等維持管理業務	消防局	総務課	シートA	8
22111	消防施設営繕事業	消防局	総務課	シートA	9
22112	消防用給油施設整備事業	消防局	総務課	シートB	10
62221	昇任試験事務	消防局	総務課	シートA	12

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	二村 浩昭	担当者名	主事	藤井 政伸	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防局管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-			
取り組みの柱	体制の強化			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	消防法・消防組織法・松山市消防本部および消防署に関する条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防総務事務及び消防局全体に作用する庁舎維持管理を行い、円滑な消防業務の取り組みを進める。						
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防局の設置						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】消防施設及び消防職員 【内容】・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A) (単位:千円)				60,050	60,778			57,685	
決算額(B) (単位:千円)				64,529	49,529				
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0			0	
	県支出金			0	0			0	
	市債			0	0			0	
	その他			32	0			150	
一般財源				64,497	49,529			57,535	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					使用料及び賃借料:18,452千円 燃料費:16,576千円 通信運搬費:5,139千円		燃料費:23,240千円 使用料及び賃借料:18,460千円 通信運搬費:5,652千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)	-4,479		11,249		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	円滑な消防業務の取り組みを進めている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防車両の運行や消防事務の円滑な遂行に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	継続して円滑な消防業務の取り組みを進める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特に無し

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	相田 雅敏	担当者名	主任	稲垣 淳	消防副士長	和田 遼司
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員採用事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-			
取り組みの柱	体制の強化			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	地方公務員法						
事業の目的(どのような状態にするか)	職員採用試験を公平・公正に実施するとともに、有能な人材を確保することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	地方公務員法第15条に、職員の任用は受験成績、人事評価その他の能力の実証に基づいて行わなければならないと規定されているため。						
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	【対象】日本国籍を有するほか、採用試験実施要領の資格要件を満たしている者 【事業内容】 1. 採用試験実施要領の告示(市役所掲示板、ホームページ、広報誌等) 2. 受験の手続き 3. 試験(第1次試験～第3次試験)の実施、結果発表 4. 第3次試験の合格者を採用候補者名簿に登録						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消火費		目	常備消火費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				1,491	1,402	1,323			
決算額(B)(単位:千円)				1,390	1,203	-			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			0	0	0			
一般財源				1,390	1,203	1,323			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				試験問題等委託料:682千円 試験会場借上料:443千円		試験問題等委託料:624千円 試験会場借上料:534千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	101	199			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・松山市消防職員(上級)採用試験 ・松山市消防職員(初級)採用試験を実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	採用試験の受験啓発について、工夫を継続する必要あり		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		よりよい人材を確保することにより、消防・救急・救助体制の充実につながっている。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	職員採用試験を公平・公正に実施するとともに、有能な人材を確保することを目的とする。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・松山市消防職員(上級)採用試験 ・松山市消防職員(初級)採用試験を実施予定		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	相田 雅敏	担当者名	主任	稲垣 淳	消防副士長	和田 遼司
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員資格取得事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	体制の強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	消防職員教養研修計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防職員が複雑・多様化する災害に迅速・的確かつ安全に対応するため、法令に定められた免許、資格等を取得することを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法の公布・施行に伴い昭和23年9月に松山市消防本部が設置されて以降、継続・計画的に実施している。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】松山市消防職員 【事業内容】関係機関が実施する免許試験、技能講習、特別教育を受験、受講するもの。 ※救急救命士、大型自動車、小型移動式クレーンなど						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期		当初
				項	目			R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					6,230		6,510			6,559
決算額(B)(単位:千円)					6,129		6,239			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0		0			0
				県支出金	0		0			0
				市債	0		0			0
				その他	44		64			42
一般財源				6,085		6,175			6,517	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						負担金:5,713千円 普通旅費:228千円		負担金:5,945千円 普通旅費:215千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	101		271			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	救急救命士免許取得 ・大型自動車免許取得 ・小型移動式クレーン技能講習 など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の目標どおり達成できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防業務に必要な免許・資格等を取得することにより、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	消防職員が複雑・多様化する災害に迅速・的確かつ安全に対応するため、法令に定められた免許、資格等を取得することを目的とする。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	救急救命士 ・大型自動車 ・小型移動式クレーン技能講習 ・ガス溶接技能講習 ・伐木等の業務に係る特別講習などの免許等を取得予定		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	相田 雅敏	担当者名	主任	稲垣 淳	消防副士長	和田 遼司
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員教養研修事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-			
取り組みの柱	体制の強化			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第52条						
事業の目的(どのような状態にするか)	総務省消防庁消防大学校及び愛媛県消防学校等で、高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法の公布・施行に伴い昭和23年9月に松山市消防本部が設置されて以降、継続・計画的に実施している。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】松山市消防職員 【事業内容】各機関で高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。 1. 愛媛県消防学校初任教育の受講 2. 総務省消防庁消防大学校、愛媛県消防学校等での専科教育等の受講						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期		
				項	目			当初		
				R元年度	R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				4,800	5,206	5,153				
決算額(B)(単位:千円)				4,359	4,713					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0				
	県支出金			0	0	0				
	市債			0	0	0				
	その他			0	24	30				
一般財源				4,359	4,689	5,123				
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				普通旅費:110千円 出席負担金:4,603千円		普通旅費:480千円 出席負担金:4,673千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	441	493				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県消防学校 初任教育、救助科、予防査察科 消防大学校 女性活躍推進コース などに入校					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の目標どおり達成できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	人材育成を図ることにより、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	各機関で高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	愛媛県消防学校や消防大学校に入校予定		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	二村 浩昭	担当者名	主事	藤井 政伸	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員被服貸与・事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約				
取り組みの柱	体制の強化						
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第16条第2項 松山市消防吏員服制規則 松山市消防吏員の服制等に関する規程						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防吏員の被服などを貸与し、服制規律の確立及び消防業務の円滑化を進め、市民の生命・身体・財産を保護する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防局の設置						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】消防職員 【内容】消防被服の購入、貸与及び補正						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				25,894	31,090				31,583
決算額(B)(単位:千円)				27,687	30,322				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0				0
	県支出金			4,970	8,250				7,169
	市債			0	0				0
	その他			0	0				0
	一般財源			22,717	22,072				24,414
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算					消耗品費:29,983千円 手数料:339千円		消耗品費:31,258千円 手数料:325千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					流用による減あり				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		-1,793	768				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防被服の購入、貸与及び補正					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	円滑な消防業務の実施を推進している。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	現場活動隊員の安全性が確保されるなど、消防業務の円滑化に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和2年度から、被服の貸与方法に点数制を導入し、各職員が被服の状態を確認し、自身に必要な被服を選択することで、限られた予算の範囲内で、効果的な被服の貸与が可能となった。消防職員から、活動服の機能性向上に関する意見が出ており、快適性や予算面とあわせて、新活動服の導入について検討を行う必要がある。					
R3年度の目標	継続して服制規律の確保及び消防業務の円滑化を進める。	R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・消防被服の購入、貸与及び補正 ・労働安全衛生法施行令の改正に伴い、配備が必要な墜落制止用器具を全現場隊員へ貸与する。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	職員の要望に合致した活動服の調査を行うとともに、製品の試着等を行い、現場職員の意見を集約しながら、新活動服の導入可否・製品について協議していく。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	間 浩高	担当者名	主任	宇都宮 貴文	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	間 浩高	担当者名	主査	重松 耕太	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防長会事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	体制の強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条,第8条					
事業の目的(どのような状態にするか)	・全国消防長会や一般財団法人全国消防協会の事業を通じて、消防制度・技術の発展や防火防災思想の普及啓発を図る。 全国消防長会・・・全国の消防長で構成される組織であり、全国消防長の意思統一と融和促進を図り、情報交換を行うとともに、消防の制度、技術等の総合的研究を促進し、日本消防の健全な発展に寄与することを目的に各種研修や会議などを行う団体 一般財団法人全国消防協会・・・全国の消防職員の知識・技術、活動能力の向上及び防火防災思想の普及広報に関する事業を行う団体					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国消防長会(昭和24年5月設立、昭和36年5月名称を変更)及び全国消防協会(昭和40年8月)の事業拡大を受けてのもの。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・(一財)全国消防協会、全国消防長会、愛媛県消防長会、愛媛県中予地区消防長会へ負担金を支出。 ・(一財)全国消防協会や全国消防長会が実施する研修や会議へ職員を派遣し、技能の向上や情報交換を図る。 ・愛媛県消防長会の運営。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 24	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	9月補正
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					1,646		1,572		4,236
決算額(B)(単位:千円)					1,460		1,036		
内訳(単位:千円) ※R元→R2決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				83		6		118
	一般財源				1,377		1,030		4,118
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						負担金939千円、旅費97千円		負担金3,010千円、旅費1,216千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						9月補正で2,974千円減額			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	186		536		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県、四国、全国の消防本部と情報交換及び連携強化 愛媛県消防長会の運営					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	全国の消防本部との情報交換と連携強化、愛媛県消防長会の運営を計画通り進めることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		全国の消防本部との連携により、相互応援体制の充実が図られたほか、(一財)全国消防協会や全国消防長会が実施する研修や訓練を通じて職員の技能が向上し、本市の消防力強化に寄与した。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	(一財)全国消防協会四国地区支部長及び全国消防長会四国支部長は四国都の消防局長で持ち回しており、令和2・3年度は松山市消防局長がその任に就くほか、運営は本市消防局が行う。 また、これに伴い、本市で消防救助技術四国地区指導会を開催する。					
R3年度の目標	引き続き、愛媛県、四国、全国の消防本部との情報交換及び連携強化を進め、消防体制の充実強化を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・愛媛県、四国、全国の消防本部との情報交換及び連携強化 ・愛媛県消防長会の運営 ・(一財)全国消防協会四国地区支部の運営 ・全国消防長会四国支部の運営	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	消防救助技術四国地区指導会を開催するため、必要経費について四国内の消防本部で応分する。

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	二村 浩昭	担当者名	主事	藤井 政伸	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防署所等維持管理業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	体制の強化			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し		
根拠法令, 条例, 個別計画等 消防法・消防組織法・松山市消防本部および消防署に関する条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防庁舎の維持管理を行い、円滑な消防業務の取り組みを進める。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市内に整備された消防署、支署等の庁舎を維持管理し、消防業務を円滑に実施するため。					
対象・事業内容(誰に対して, 何をやるのか)	【対象】松山市内に設置されている消防署所などの庁舎及び同庁舎に勤務する職員 【内容】・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・事務用品などの調達 ・光熱水費の支出 など					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合, 基準や金額等 「無し」の場合, その理由			
始期・終期(年度)	昭和	50	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	
				R元年度	R2年度			R3年度	
現計予算額(A) (単位:千円)					86,121		88,639		82,526
決算額(B) (単位:千円)					80,901		81,222		
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				1,218		1,169		1,577
一般財源					79,683		80,053		80,949
主な経費(単位:千円) ※R2→決算, R3→予算						光熱水費:44,582千円 委託料:30,594千円 燃料費:3,744千円		光熱水費:48,000千円 委託料:28,550千円 燃料費:3,711千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等						流用による増あり			
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)	5,220		7,417		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 事務用品などの調達 光熱水費の支出 など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	庁舎の点検整備などを適正に行うなど、維持管理できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防署所などの適正な維持管理が行われることで、消防事務の円滑な遂行に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化, 障害, 課題となっている事項	特に無し					
R3年度の目標	継続して円滑な消防業務の取り組みを進める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 事務用品などの調達 光熱水費の支出 など	特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, R3年度で取り組む改善策	特に無し

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	二村 浩昭	担当者名	主事	藤井 政伸	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防施設営繕事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	-		
取り組みの柱	体制の強化			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防法 消防組織法					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防施設(消防庁舎等)の補修や改修をするなど、消防施設全般を維持管理し、消防活動拠点としての機能を維持する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	市内に整備された消防署、支署等の施設を改修・修繕し、消防業務を円滑に実施するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	・消防施設(消防庁舎等) 東消防署3階仮眠室改修その他工事、四国興建株式会社へ工事請負費を支出 西消防署非常用発電機燃料貯蔵設備新設工事、有限会社エントロピーへ工事請負費を支出 中央消防署非常用発電機燃料貯蔵設備新設その他工事、株式会社ヒロ配管設備へ工事請負費を支出 南消防署非常用発電機燃料貯蔵設備新設その他工事、有限会社信栄水道工事へ工事請負費を支出 外					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	消防施設費	R2予算措置時期	当初
				項	目				
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				64,636	92,110	95,398			
決算額(B)(単位:千円)				64,924	62,374				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	26,800	26,900			
	その他			0	0	50,900			
一般財源				64,924	35,574	17,598			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				・東消防署3階仮眠室改修その他工事:19,898千円 ・西消防署非常用発電機燃料貯蔵設備新設工事:6,019千円ほか		・北条支署外2箇所防水押えコンクリート改修工事:37,509千円 ・東消防署エレベーターリニューアル工事:13,481千円ほか 予算額のうち26,922千円は前年度繰越分			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	-288	29,736			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・東消防署3階仮眠室改修その他工事 ・西消防署非常用発電機燃料貯蔵設備新設工事ほか ・消防施設の補修や改修					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	中央消防署、東消防署、南消防署の非常用発電機燃料貯蔵設備新設その他工事が令和2年度内に完成せず、令和3年度に繰り越したため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防施設(消防庁舎など)の補修や改修を行うことで、適正に維持管理され、消防事務の円滑な遂行に貢献しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。					
R3年度の目標	継続して消防活動拠点としての機能を維持する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・北条支署外2箇所防水押えコンクリート改修工事 ・東消防署エレベーターリニューアル工事 ・消防施設の補修や改修		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	二村 浩昭	担当者名	主事	藤井 政伸	
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施業コード)	22112	消防用給油施設整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約	311	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	
取り組みの柱	機材・車両等の整備充実				いざというときに助け合うため、これまで築いてきた地域防災体制や災害の教訓を生かし、地域防災力をさらに高めます。小学生から高齢者まで切れ目のない防災リーダーを育成するなど、官民学が一体になって、将来にわたる地域防災の担い手を確保します。	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			

事業の目的(どのような状態にするか)	南海トラフを震源とする巨大地震や台風などの自然災害等発生時に、燃料が不足する事態に陥ったとしても、本市の消防車両や緊急消防援助隊の車両等が継続して災害活動に従事できるよう、消防用給油施設の整備を行うもの。						
背景(どのような経緯で開始したか)	・大規模災害時には、停電や交通網の途絶により、ガソリンスタンドの供給力が低下し、災害対応に必要な車両燃料等の確保が困難となる。 ・東日本大震災、熊本地震でも同様の問題が発生しており、大規模災害時に住民避難などの民生活動に影響しない燃料を備蓄する施設が必要である。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	大規模災害に消防車両が安定して稼働し、消防活動をするため、中央消防署城北支署と南消防署東部支署に消防用給油施設を整備する。 (整備概要) 中央消防署城北支署(馬木町2227) 15,000ℓ(ガソリン:7500ℓ・軽油:7500ℓ) 南消防署東部支署(平井町甲3280-7) 15,000ℓ(ガソリン:7500ℓ・軽油:7500ℓ) (有)今井設備工業ほかから工事請負費を支出。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	消防施設費	R2 予算措置時期	
				項	目			当初	
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					0		87,930		54,906
決算額(B)(単位:千円)					0		29,205		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0		0		0
				県支出金	0		0		0
				市債	0		28,600		54,900
				その他	0		0		0
			一般財源	0		605		6	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						・城北支署ほか1支署消防用給油施設整備工事:28,600千円 ・東部支署歩道切り下げ工事:602千円		・城北支署ほか1支署消防用給油施設整備工事:42,900千円ほか	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額54,906千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			0		58,725		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	中央消防署城北支署、南消防署東部支署に給油施設整備工事を開始するも、令和2年度内での完成が困難になり、令和3年度へ繰越する。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	不測の日数を要し、年度内に完成しなかったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	2:あまり貢献していない	左記の理由	令和2年度で完成しなかったため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特殊な工事のため、設計等に不測の日数を要し、令和2年度中に完成しなかった。					
R3年度の目標	給油施設2箇所の早期運用開始。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	2箇所の給油施設を完成させ、運用を開始する。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策	給油施設の早期工事完了及び円滑な運用の開始を目指し、関係所属等としっかりとした協議・検討を行う。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)	施設整備数	箇所	目標値				2	2	2	目標値	2	
			実績値				0			達成年度	R3年度	
			% 達成度				0					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	給油施設を2箇所整備すること。					
	本指標の設定理由	消防用給油施設の整備が完了し、災害対応の体制が整ったことを示す指標										
				目標値							目標値	
				実績値							達成年度	
				% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由											
			目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
			% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由												
成果指標 (3つまで設定可)	稼働可能日数	日	目標値				7	7	7	目標値	7	
			実績値				0			達成年度	R3年度	
			% 達成度				0					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	給油施設を2箇所整備し、燃料供給体制が整うこと。					
	本指標の設定理由	災害等により燃料供給が滞った場合でも、本市消防車両や緊急消防援助隊等応援車両が稼働できる日数										
				目標値							目標値	
				実績値							達成年度	
				% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由											
			目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
			% 達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由												
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	不測の日数を要し、令和2年度内に完成しなかったことから、指標を達成できていないが、引き続き早期完成を目指し、事業を進めていく。										
	成果指標	不測の日数を要し、令和2年度内に完成しなかったことから、指標を達成できていないが、引き続き早期完成を目指し、事業を進めていく。										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和3年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	相田 雅敏	担当者名	主任	稲垣 淳	消防副士長	和田 遼司
令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	62221	昇任試験事務	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	職員の資質向上		市長公約	-			
取り組みの柱	職員のやる気を引き出す組織風土の醸成			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	地方公務員法、松山市消防職員任用規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	中核市移行をはじめとする地方分権への本格的な取り組みや高度化、多様化する市民ニーズに対応することができる職員を登用するため。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】課長級・・・主幹の在職年数が3年以上の職員、主幹・・・副主幹の在職年数が3年以上の職員、主査・・・主任の在職年数が4年以上の職員 【事業内容】 <課長級、主幹>口述試験、勤務評定を総合的に評価して昇任候補者を決定 <主査>主査昇任試験の資格を得るため、検定試験実施 検定試験合格者の中から筆記試験(記述式)、口述試験、勤務評定を総合的に評価して昇任候補者を決定						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	10	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	消防費		目	常備消防費	R2予算措置時期	
				項	目			当初	繰上
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				649		673		712	
決算額(B)(単位:千円)				610		671		712	
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			610		671		712	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				委託料:598千円		委託料:712千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		39		2	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・主査昇任検定試験の実施 ・主査(消防司令補)、主幹(消防司令)、課長級(消防司令長)の昇任候補者名簿試験の実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	能力と意欲のある職員を登用できている。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることにより、消防・救急・救助体制の充実につながっている。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることを目的とする。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	・主査昇任検定試験の実施 ・主査(消防司令補)、主幹(消防司令)、課長級(消防司令長)の昇任候補者名簿試験の実施	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし